

プログラミング 楽しい!!



親子でプログラミングを学んだイベント

仙台・県小学生大会プレイベント ロボットを自動運転

県小学生プログラミング大会（河北新報社など主催）のプレイベントが12日、仙台市太白区の東北工大であった。小学生約30人が参加した。東北工大や仙台南高の教員らが指導役を担当。児童は教育用プログラミング言語「スクラッチ」などを使い、人工知能（AI）と対戦するじゃんけんゲームを作ったり、小型ロボットを自動運転させたりして、プログラミングへの理解を深めた。

仙台市七北田小2年の八谷威久郎君（8）＝泉区＝は「正しくプログラミングできたのか、ロボットを動かしてみないと分からないのが楽しかった」と満足げに語った。

プログラミングは思考力や課題解決能力の向上を目的に、本年度から小学校で必修化された。東北工大技術支援センターの西尾正人技術職員は「楽しみながら学べる仕掛けを今後も続けていきたい」と話した。

発想力や表現力を競う県小学生プログラミング大会は11月22日、東北工大で開催。最優秀賞受賞者は来年3月に東京で行われる全国大会に出場できる。作品は今月30日まで募集している。